

市政を動かしてきた

2議席

でも
でも
国政
市政

負担増にはきつぱりと「ノー」と主張

市民の利益を守っています

小児医療費の無料化 小学校1年生まで実施へ



就学前までだった医療費助成は、小学1年生まで引き上げられます。共産党議員団は、所得制限なしで小学6年生まで引き上げるように求めてきました。助成対象年齢の引き上げへ新しい議会で取り組みをつよめます。

老朽化した学校の机、イス交換へ

市内の公立学校の老朽化した机、イスが順次交換されることに。全学校にエアコンも設置されます。



学童保育設置・整備すすむ

22年度に久木（中学校敷地内）、池子（池子小脇公園内）、小坪（公民館横）、桜山（青少年会館内）に整備されます。

共産党議員団は、全小学校区への設置・整備を求めつつけてきました。ひきつづき沼間地域（ひまわり子どもクラブ）への整備に力を入れます。

こんにちは赤ちゃん事業開始へ



虐待の早期予防と若い親の育児の不安解消を目的にした、生後4カ月までの新生児の全戸訪問をおこなう事業が、22年度からはじまります。党議員団が3年前から予算措置と早期実施を求めてきたものです。

共産党の市会議員の活躍に期待します



いまの市議会のなかで、党派をこえて議会をまとめられ、池子問題や市政を信頼してまかせられる議員は、いわむろさん、はしづめさんの2人です。市政を動かす力のある2人の議員にひきつづきがんばってほしい。

有安八重子さん（元市議、池子）



民主党中心の新政権 おかしくありませんか

- ◆75歳をこえた方の負担を増やし差別医療をつづける「後期高齢者医療制度」を、すぐに廃止するのではなく、先送りに。
- ◆労働者派遣法「改正」も、肝心の使い捨て解雇が自由で、短期の「常用型派遣」を残すなど問題もつきつき。
- ◆沖縄の普天間基地の「即時閉鎖・撤去」「辺野古への新基地建設と県内移転反対」が県民の総意なのに、米国の圧力で存続に固執し迷走。
- ◆首相、民主党幹事長の「政治とカネ」の問題で説明つくさず居直り。衆院議員も起訴に。

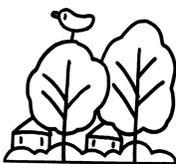
特養ホーム増設を

特別養護老人ホーム入所を希望する多くの方が長く待たされています。共産党議員団は、市の用地確保や整備の補助制度などを創設し、積極的な取り組みを求めています。



みどりと住環境を守る

●沼間1丁目の緑地の開発計画を業者が断念。みなさんが集めた4100筆の署名が実を結んだもので、共産党議員団は、周辺のみなさんの運動と力をあわせ取り組みました。
●名越史跡周辺の緑地買い取りを促進し、みどりをまもりました。
●共産党議員が8年前に紹介議員となった久木6丁目の開発計画が中止に。「市民の森」契約にむけて市と事業者が協議中です。



池子の無条件返還を

共産党議員団は、国と県と市の「三者合意」を無視した国の理不尽さを批判し、池子米軍住宅の追加建設白紙撤回、池子全面返還を強く主張。追加建設容認を前提条件にした国の一部返還案を受け入れず、無条件返還を求めるよう迫っています。市議会で、西側運動公園の早期返還を求める全会一致の意見書採択に力をつくしました。

いつでも「市民が主人公」がモットー
日本共産党に大きなきざし支援を